

令和 7 年度 法人本部事業計画

（事業計画の概要）

ポストコロナの中、社会活動が再開し、弱体化した地域コミュニティの再構に向けて法人事業を展開する。地域への公益的な取り組みは、参加者の増加、協働実践の拡大がみられ、一定の成果がみられる。しかし、社会情勢は生産労働人口の減少、自然災害の多発化、日本経済の停滞の影響を受け、福祉人材が不足している。さらに、国および地方自治体の財政状況の悪化は、今後、新規事業を展開する上で財源及び人材確保に大きく影響することが予測される。

このような厳しい状況の中、中期経営計画の見直しにより、法人ビジョンを「0歳～100歳 地域福祉の「結び目」となる四恩学園」に修正をおこなった。当法人が推進してきた「地域福祉の拠点」を今後も法人戦略の中核として、人材確保、定着の充実を軸に経営計画の見直しを行う。今回は、①安定した財務基盤の確立の基礎を築く②入居者や児童、利用者の権利を守る基盤を築く③増進型福祉を推進に向けたプラットフォームを築く事を重点として事業を推進する。ぬくもりのある幸せな社会を実現するという理念を基に、個々人の能力や発想を結びつける「結び目」となることで、創造的な成果を導き出す事業を展開していく。

（財務の視点）

- ・ 収益性の向上
 - 各施設の稼働管理、事業支出（人件費・事業費等）の管理に向けた法人と各施設の連携強化（各施設との協議の場の設置）
 - 寄付金・助成金・補助金の安定した獲得

（顧客の視点）

- ・ 新事業の展開
 - 天王寺区での新規事業立ち上げに向けた協議の開始（子育て支援事業放課後デイ等）
 - 認定こども園の開設に向けた支援
 - あびこでの、ヘルスケア事業（予防事業）の展開
- ・ 福利厚生の充実
 - 福利厚生での、健康メニュー（チョコザップ）の充実を図る
 - 休職者支援（メン活サークル） 休職者職員の集い
 - 職員間コミュニケーションの活性に向けたレクリエーションの充実
 - 職員間の年代を超えた交流 事業所を超えた交流

- ・ ミックスモダンの充実
 - 重層的支援体制・地域の居場所づくり等の地域公益事業の充実ため、ソーシャルサービス、NPO 法人、学校、行政、企業の協働実践に向けた場づくりの推進

（内部統制の視点）

- ・ 内部統制の推進
 - 法人事務システム（労務・事務・経理・情報共有）の IT 化の推進
 - リスクマネジメント体制の構築
- ・ 雇用施策の充実
 - 地域雇用の推進を軸に、高齢者雇用の充実、ダブルワークなどの制度構築に着手し、働きやすい雇用環境づくりに取り組む
 - 年間休日 110 日に向けて・有給取得など年間総労働時間の見直し・労働環境改善
- ・ 女性・若者の活躍支援

法人ブランドの向上を通して、新たな福祉人材の獲得や次世代の育成を実施する

 - 女性活躍推進えるぼしの取得
 - 育休支援及び子育て支援の充実（福利厚生）育休職員の集い
 - 若者活用推進体制の構築(若手管理職の育成)

法人各種委員会活動における若手職員の起用
 - 民間企業・NPO 法人との連携

（学習と成長の視点）

- ・ スキル・知識の向上
 - 魅力ある人材育成に向けて、多様性や社会問題の理解を深めるため、民間企業へのインターンシップ等研修内容の企画立案を行う
- ・ 組織風土の活性化
 - 職員への地域活動の支援
- ・ リスク・人権意識の醸成

人権研修の充実